

平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年7月30日

上場会社名 初穂商事株式会社 上場取引所 JQ  
 コード番号 7425 URL <http://www.hatsuho.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 悟  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高野 温志 (TEL) 052 (222) 1066  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	6,175	△14.3	△85	—	△59	—	△144	—
21年12月期第2四半期	7,209	—	△74	—	△47	—	△42	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第2四半期	△17	52	—	—
21年12月期第2四半期	△5	15	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
22年12月期第2四半期	9,109		4,493		49.3		547	88
21年12月期	10,270		4,714		45.9		565	14

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 4,493百万円 21年12月期 4,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
21年12月期	—	—	—	—	—	4	00	4	00
22年12月期	—	—	—	—	—	4	00	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	—	—	4	00	4	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年12月期の業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	12,880	△9.2	△100	—	△47	—	△145	—	△17	60

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2 Q	8,701,656株	21年12月期	8,701,656株
22年12月期 2 Q	500,192株	21年12月期	357,792株
22年12月期 2 Q	8,262,178株	21年12月期 2 Q	8,344,899株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2 ページ[当四半期の業績等に関する定性的情報]

(3) 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第2四半期累計期間) .....	6
(第2四半期会計期間) .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	9
(1) 経営管理上重要な指標の推移 .....	9
(2) 仕入及び販売の状況 .....	9
(3) 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績値・予想値 .....	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成22年1月1日～平成22年6月30日)におけるわが国経済は、新興国を中心とした輸出の増加や緊急経済対策を始めとする政策の効果等により、一部に明るい兆しが見え始めたものの、デフレの影響による企業収益力の低下、南欧諸国の財政問題による信用不安など不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、政府建設投資や民間設備投資が大きく落ち込み、これまでに経験のない急激な需要減に直面しております。

こうした厳しい経営環境の中、当社は地域に根ざした営業活動を推進し、顧客への訪問回数を増やすなど、情報収集に努めてまいりました。また、経費面におきましても、物流改善等に取り組む一方、引き続き固定費を中心とした経費の削減を図ってまいりました。しかしながら、厳しい経営環境を背景とした需要減により、前年同四半期比減収、減益となりました。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高61億75百万円(前年同四半期比14.3%減)、営業損失85百万円(前年同四半期は営業損失74百万円)、経常損失59百万円(前年同四半期は経常損失47百万円)となりました。また、繰延税金資産の回収可能性を見直し、過大となった金額74百万円を取り崩したため四半期純損失1億44百万円(前年同四半期は四半期純損失42百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は91億9百万円となり、前事業年度末に比べ11億61百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が2億13百万円、受取手形及び売掛金が8億82百万円、長期性預金が1億円、繰延税金資産(固定)が51百万円減少し、商品が1億58百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、46億16百万円となり前事業年度末に比べ9億39百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が10億18百万円、長期借入金が1億32百万円減少し、短期借入金が1億10百万円、1年内返済予定の長期借入金が95百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は44億93百万円となり、前事業年度末に比べ2億21百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が1億78百万円減少、自己株式が39百万円増加などによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ3億3百万円減少し、15億42百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、3億14百万円(前年同四半期は1億15百万円の減少)となりました。これは主に、減価償却費の計上34百万円、売上債権の減少8億82百万円、法人税等の還付額29百万円の方で、税引前四半期純損失63百万円、たな卸資産の増加1億58百万円、仕入債務の減少10億15百万円、その他資産の増加24百万円(前払費用等)、法人税等の支払額7百万円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、12百万円(前年同四半期は35百万円の増加)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入30百万円、投資有価証券の償還による収入5百万円、貸付金の回収による収入8百万円の方で、定期預金の預入による支出20百万円、有形固定資産の取得による支出3百万円、その他投資資産の取得による支払6百万円(保険積立金等)などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、0.3百万円(前年同四半期は48百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の純増額1億10百万円の方で、長期借入金の返済による支出37百万円、自己株式の取得による支出39百万円、配当金の支払額による支出33百万円などによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年2月9日公表の平成22年12月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成22年7月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,662,548	1,875,617
受取手形及び売掛金	3,726,720	4,609,165
有価証券	3,712	10,502
商品	774,568	616,254
貯蔵品	4,697	4,930
その他	110,346	136,465
貸倒引当金	△23,068	△26,226
流動資産合計	6,259,525	7,226,709
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	359,897	372,643
土地	1,492,965	1,502,987
その他(純額)	82,085	94,533
有形固定資産合計	1,934,948	1,970,165
無形固定資産		
投資その他の資産	11,739	20,202
その他	1,016,618	1,164,360
貸倒引当金	△113,083	△110,645
投資その他の資産合計	903,534	1,053,714
固定資産合計	2,850,222	3,044,083
資産合計	9,109,748	10,270,792
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,632,457	4,650,457
短期借入金	335,000	225,000
1年内返済予定の長期借入金	169,000	74,000
未払法人税等	11,449	13,614
賞与引当金	22,600	21,100
その他	187,594	182,725
流動負債合計	4,358,101	5,166,897
固定負債		
長期借入金	80,000	212,000
役員退職慰労引当金	124,910	122,634
その他	53,355	54,403
固定負債合計	258,266	389,037
負債合計	4,616,367	5,555,934

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	885,134	885,134
資本剰余金	1,316,184	1,316,184
利益剰余金	2,411,028	2,589,128
自己株式	△118,344	△78,757
株主資本合計	4,494,002	4,711,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△622	3,168
評価・換算差額等合計	△622	3,168
純資産合計	4,493,380	4,714,857
負債純資産合計	9,109,748	10,270,792

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	7,209,738	6,175,230
売上原価	6,148,089	5,184,681
売上総利益	1,061,648	990,548
販売費及び一般管理費	1,136,473	1,075,925
営業損失(△)	△74,824	△85,377
営業外収益		
受取利息	4,427	3,754
受取配当金	909	763
受取賃貸料	7,522	7,979
仕入割引	16,760	15,702
その他	2,499	4,472
営業外収益合計	32,119	32,672
営業外費用		
支払利息	3,988	2,973
賃貸費用	710	782
売上割引	—	3,097
その他	269	201
営業外費用合計	4,968	7,055
経常損失(△)	△47,673	△59,759
特別損失		
固定資産売却損	398	46
固定資産除却損	76	584
投資有価証券償還損	—	2,656
貸倒引当金繰入額	500	130
特別損失合計	974	3,417
税引前四半期純損失(△)	△48,647	△63,176
法人税、住民税及び事業税	8,916	7,390
法人税等調整額	△14,584	74,161
法人税等合計	△5,668	81,551
四半期純損失(△)	△42,979	△144,728



(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,150,467	2,880,886
売上原価	2,691,489	2,415,478
売上総利益	458,978	465,408
販売費及び一般管理費	550,799	533,055
営業損失(△)	△91,821	△67,647
営業外収益		
受取利息	3,199	1,877
受取配当金	782	637
受取賃貸料	3,761	3,980
仕入割引	6,834	7,199
その他	1,374	2,417
営業外収益合計	15,951	16,111
営業外費用		
支払利息	1,893	1,473
賃貸費用	314	380
売上割引	—	1,341
その他	269	—
営業外費用合計	2,477	3,195
経常損失(△)	△78,347	△54,731
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	11,225	—
特別利益合計	11,225	—
特別損失		
固定資産売却損	398	—
固定資産除却損	24	450
貸倒引当金繰入額	200	120
特別損失合計	622	570
税引前四半期純損失(△)	△67,744	△55,302
法人税、住民税及び事業税	△12,326	3,654
法人税等調整額	△16,108	73,412
法人税等合計	△28,434	77,067
四半期純損失(△)	△39,309	△132,369

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△48,647	△63,176
減価償却費	43,916	34,983
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,400	1,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,272	△719
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,276	2,276
受取利息及び受取配当金	△5,336	△4,518
支払利息	3,988	2,973
有形固定資産除売却損益(△は益)	474	630
投資有価証券償還損益(△は益)	—	2,656
売上債権の増減額(△は増加)	1,468,781	882,518
たな卸資産の増減額(△は増加)	355,793	△158,079
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,984,522	△1,015,599
その他	52,600	△23,260
小計	△114,347	△337,814
利息及び配当金の受取額	4,894	4,442
利息の支払額	△4,123	△2,933
法人税等の支払額	△6,420	△7,928
法人税等の還付額	4,410	29,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	△115,586	△314,952
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△30,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	130,000	30,000
有形固定資産の取得による支出	△32,616	△3,992
有形固定資産の売却による収入	214	88
無形固定資産の取得による支出	△2,921	—
投資有価証券の取得による支出	△1,077	△1,078
投資有価証券の償還による収入	—	5,880
貸付けによる支出	△4,000	—
貸付金の回収による収入	5,473	8,092
その他	△29,387	△6,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	35,686	12,202
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△85,000	110,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△5,000	△37,000
自己株式の取得による支出	△724	△39,788
配当金の支払額	△58,141	△33,256
その他	—	△274
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,865	△319
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△128,766	△303,068
現金及び現金同等物の期首残高	1,556,006	1,845,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,427,239	1,542,548

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 経営管理上重要な指標の推移

当社は、企業価値を向上していくことを経営の目標としております。経営指標といたしましては、企業の付加価値を如何に高めることができるかを重視し、自己資本当期純利益率及び売上高経常利益率の上昇を目指してまいります。

## (2) 仕入及び販売の状況

## ① 仕入実績

当第2四半期累計期間における仕入実績を事業部門別に示すと次のとおりであります。

事業部門別	当第2四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 (%)
軽量鋼製下地材・不燃材 (千円)	3,320,703	85.0
建築金物・エクステリア (千円)	824,610	104.5
鉄線・溶接金網 (千円)	528,978	113.9
A L C金具副資材 (千円)	262,118	77.7
カラー鉄板 (千円)	377,356	137.9
窯業建材金具副資材 (千円)	29,228	140.1
合計 (千円)	5,342,995	92.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと次のとおりであります。

事業部門別	当第2四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 (%)
軽量鋼製下地材・不燃材 (千円)	3,909,314	80.9
建築金物・エクステリア (千円)	930,043	96.3
鉄線・溶接金網 (千円)	621,110	106.8
A L C金具副資材 (千円)	317,364	72.5
カラー鉄板 (千円)	359,838	100.6
窯業建材金具副資材 (千円)	37,559	113.0
合計 (千円)	6,175,230	85.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績値・予想値

① 設備投資

当第2四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

② 減価償却費

減価償却累計額

有形固定資産 1,552,687千円

投資不動産 19,544千円

③ 研究開発費の実績値・予想値

該当事項はありません。